

McAfee® Email Security ソリューションの製品サ ポート終了

よくある質問

Q: McAfee の Email Security ソリューションが EOL になるのはなぜですか。

A: 弊社では、より迅速な保護、検出、および修正を実現する統合ソリューションの作成に取り組んでいます。そのため、エンドポイント、クラウド、脅威検出、管理、およびこれらのコンポーネント間を移動するすべてのデータ向けのセキュリティ ソリューションに重点的に投資しています。これらの重要な分野への投資を増やすために、McAfee Email Security ソリューションなどの製品分野から撤退せざるを得ませんでした。今回の決定が皆様にもたらす混乱についてお詫びするとともに、製品サポート終了プロセスを通じて McAfee Email Security ソリューションのサポートを継続していくことにお約束します。

Q: この EOL に含まれる SKU は何ですか。

A: 表 1: この EOL に含まれる SKU

SKU スタブ	説明
ELP	Email Protection (ソフトウェア バンドル - サブスクリプション)
ESG	Email Security Gateway Edition ソフトウェア (ソフトウェア - パーペチュアル)
EG-5500-D、EG-4500-C	Email Gateway アプライアンス ハードウェア (アプライアンス)
CH1P、CHDP、CH3P、BLDE HW	Content Security Blade Server ハードウェア
MGMT-E、BLDE-E	Email Security Management Blade および Email Security Scanning Blade
MGMT-E、BLDE-E	Content Security Blade Server ハードウェア (アプライアンス)
EPC、MPC1GE-AA	SaaS Email Protection & Continuity
EIF、MIF1GE-AA	SaaS Email Inbound Filtering
MET1GE-AA、MSD1GE-AA、MST1GE-AA	SaaS Enterprise
MEP1GE-AA、MPB1GE-AA、MPT1GE-AA	SaaS Enterprise Plus
MPA1GE-AA	SaaS Premium Anti Spam
MOF1GE-AA	SaaS Email Outbound Filter
MPD1GE-AA	SaaS Email Protection
MFS1GE-AA	SaaS Email Spooling
MMC1GE-AA	SaaS Email Continuity
MIR1GE-AA	SaaS Email Intelligent Routing
MPR1GE-AA	SaaS Perimeter Defense

SKU スタブ	説明
MQA1GE-AA	SaaS Extended Quarantine
EFC	SaaS Email Inbound Filtering & Continuity - アプライアンス オプション
SEE、SEE1GE-AA	SaaS Email Encryption
EA1、MA11GE-AA	SaaS Email Archiving、1 年契約
ERM、MRM1GE-AA	SaaS Email Archiving、複数年契約
EAS、MAR1GE-AA、MAA1GE-AA	SaaS Email Archiving 履歴データ ストレージ
MAC1GE-AA	SaaS Email Archive Compliance Control
MSC1GE-AA	SaaS Email Archive Storage Control
ES1、MS11GE-AA	SaaS Email Security & Archiving Suite、1 年契約
ESM、MSM1GE-AA	SaaS Email Security & Archiving、複数年契約
SWR、MWR1GE-AA	SaaS Web & Email Protection Suite
SW1、MW11GE-AA	SaaS Web and Email Security with Archiving、1 年契約
SWM、MWM1GE-AA	SaaS Web and Email Security with Archiving、複数年契約
WEG	Web and Email Gateway Suite
WES	Web and Email Protection Suite

以下の SKU の詳細については、McAfee SaaS Endpoint の製品サポート終了に関する FAQ をご参照ください。

TSA、MSA1GE-AA	SaaS Endpoint and Email Protection Suite
TSI	Endpoint Protection Advanced for SMB
STP	SaaS Total Protection

Q: 使用中の McAfee Email Security システムはどうすればよいのですか?

A: 市場をリードする別のソリューションへの移行を支援するために、Intel Security では、McAfee Email Security ソリューションからの移行にあたり、Proofpoint を McAfee に代わる専属サポート パートナーとして認定しました。詳細は近日中にお知らせいたします。お客様は、移行中、表 2 に示す主なマイルストーンごとに McAfee Email Security ソリューションのサブスクリプション/サポート サービスを更新できます。

Q: Proofpoint を選択した理由は?

A: Proofpoint は、Gartner のマジック クアドラントの「セキュアな電子メール ゲートウェイ」部門において、明白なリーダーとして位置づけられています。また、「エンタープライズ情報アーカイビング」部門のリーダーでもあります。さらには、Proofpoint は、Intel Security の Email Security ポートフォリオに匹敵する製品（機能的にはより豊富）と Intel Security にはない隣接メッセージング エリアに拡張する製品を備えています。このパートナーシップの詳細は近日中にお知らせいたします。

Q: 主なマイルストーンを教えてください。

A: 販売終了については、2015 年 10 月 22 日に発表しました。お客様が余裕を持って McAfee Email Security ソリューションから移行できるように、以下に示すサポート期間をご提供します。

表 2: 主な日程:

	販売終了日	サービス期間が 1 年の場合:	サービス期間が 1 か月の場合:
既存の契約に McAfee Email Gateway が含まれない場合 (例: SaaS のみ (SaaS Archiving を含む))	2016 年 1 月 11 日	既存の契約の有効期限が切れてから最大 12 か月間延長できます。	サービスの最終日である 2017 年 1 月 11 日まで 1 か月ずつ延長できません。
既存の契約に McAfee Email Gateway (McAfee Quarantine Manager を含む) が含まれる場合	2016 年 1 月 11 日	ハードウェアまたはソフトウェア サポート サービスの製品サポート期間を 2021 年 1 月 11 日まで最大 5 年間延長できます。 フル サービス サポート: 販売終了日から 2019 年 1 月 11 日までの 3 年間ご利用いただけます。 制限付きサービス サポート: フル サービス サポートの終了日から 2021 年 1 月 11 日までの 2 年間ご利用いただけます。	該当なし
SaaS Email Archiving からアーカイブ済みの電子メール メッセージを抽出できる期限		Archiving サービスの有効期限切れから 6 か月間	Archiving サービスの有効期限切れから 6 か月間

注: ハードウェア アプライアンスをご購入済みで、お客様のプラットフォーム向けの販売終了および製品サポート終了の通知が既に実施されている場合、当該ハードウェアの製品サポート終了が早まる可能性があります。現在の通知の詳細は、http://www.mcafee.com/us/support/support-eol-appliance.aspx#appl_eweb_security でご確認ください。

表 3: サービス レベルの定義:

	マルウェア定義の更新	スパム対策の更新	重要度 1 のバグの修正	重要度 2 のバグの修正	重要度 3 ~ 5 のバグの修正
フル サービス サポート	あり	あり	あり	あり	なし
制限付きサービス サポート	あり	あり	あり	なし	なし

フル サポートの定義については、<http://www.mcafee.com/jp/resources/misc/support-policy-product-support-eol.pdf> をご参照ください。

Q: 既存の環境にハードウェアを追加できますか？

A: 表 2 に示す販売終了日以降は、Gateway をご利用のお客様に新しいハードウェアは提供されません。ハードウェア容量を増やす必要がある場合は、お客様のハードウェアで動作する仮想アプリケーションをご利用いただけます。

Q: 販売終了と移行の発表後に McAfee Email Security ソリューション向けの新機能を開発する予定はありますか？

A: いいえ。新機能および機能拡張リクエスト (PER) はもう開発しません。

Q: これはマルウェアまたはスパムの検出率パフォーマンスにどのような影響を及ぼしますか？

A: パフォーマンスは変化しないと予想しています。Intel Security は、5 年間の移行期間にわたり、マルウェア/スパム保護のパフォーマンス レベルを維持するために、影響を受ける製品のサポートを引き続きご提供します。

Q: SaaS Email Archiving サービスを利用している場合はどうなりますか？

A: 主な日程は表 2 に示すとおりです。電子メールはサービスの有効期限が切れるまで、引き続き取り込まれてアーカイブされます。ただし、サブスクリプションを終了した場合、またはオンライン エクスポートを開始した場合は、電子メールの取り込みが完全に停止します。オンライン エクスポートは、現時点では 2016 年前半のリリースを予定しています。リリース日については、後日改めてお知らせいたします。オンライン エクスポートに備えて、ただちに別のアーカイブ ベンダーを選定してアーカイブ ソリューションを導入することをお勧めします。お客様が確実にオンライン エクスポートを完了できるように、表 2 に示す追加の期間をご提供します。抽出の期限を過ぎると、期限切れの電子メール メッセージは、履歴データや訴訟ホールドを含めてアーカイブから自動的かつ恒久的に削除されます。ただし、エクスポートが進行中の場合は、エクスポートが完了するまでデータが保持されます。

Q: Web および Email Security スイートを利用している場合はどうなりますか？

A: Web セキュリティは、Intel Security にとって引き続き重要な投資分野です。ご利用の電子メール セキュリティをその有効期限が切れる前に移行した場合は、引き続き Web セキュリティをご利用いただけます。

Q: これは McAfee® Email Gateway の McAfee® Advanced Threat Defense (McAfee ATD) への統合にとってどのような意味を持ちますか?

A: この McAfee 製品間の統合は、表 2 に示す日程に従って引き続きサポートされます。現時点では Proofpoint と McAfee ATD の統合はありませんが、将来的には統合される予定です。詳細は、2016 年の初めにお知らせできる見込みです。

Q: McAfee Email Gateway は McAfee® Threat Intelligence Exchange (McAfee TIE) または McAfee® Data Exchange Layer (McAfee DXL) と統合されますか?

A: いいえ。製品サポート終了の発表により、この製品の追加機能を今後リリースする予定はありません。ただし、間接的な統合は既に利用可能です。McAfee Email Gateway は McAfee ATD と統合されています。McAfee ATD は McAfee TIE および McAfee DXL の両方と統合されているため、ローカルの脅威情報を生成することも利用することもできます。

Q: Proofpoint は、Proofpoint Enterprise Protection Service を McAfee® ePolicy Orchestrator® プラットフォーム、McAfee TIE または McAfee DXL と統合する予定ですか?

A: まだ決定はされていません。この件についての詳細は、2016 年の初めにお知らせできる見込みです。

Q: 既存の McAfee Email Security ライセンスを Proofpoint に移行して未使用分のクレジットを受けるとはできますか?

A: いいえ。お客様は Proofpoint ソリューション用に新しいライセンスを Proofpoint から購入していただく必要があります。McAfee Email Security 製品は、この FAQ に記載されている販売終了および製品サポート終了のプロセスに従います。

Q: Proofpoint は、Intel Security との既存の有効な契約および価格協定をすべて引き継ぎますか?

A: いいえ。Proofpoint は、お客様の Proofpoint ソリューションへの移行を奨励するための価格インセンティブを独自の判断で提供できます。残念ながら、弊社は Proofpoint の価格設定慣行に一切関与できません。この件については、お客様が Proofpoint と直接話し合う必要があります。

Q: お客様の移行のコストを負担するのは誰ですか?

A: お客様になります。

よくある質問 (SaaS Email Archiving 関連)

Intel Security では、お客様が別のアーカイブ ベンダーに円滑に移行できるように、オンライン エクスポート機能の導入を進めています。お客様は、この機能を使用してアーカイブのコンテンツ全体を追加料金なしでダウンロードできます。この機能のリリース日は後日発表いたしますが、現時点では 2016 年の第一四半期までにリリースできる見込みです。

注: データを失うことがないように、エクスポートが完了するまでの間、アカウントをアクティブにしておく必要があります。ただし、進行中のエクスポートは製品の EOL 日を越えても完了するまで行われるのでご安心ください。

エクスポートの準備

お客様は、ただちに別のアーカイブ ベンダーを探してアーカイブ ソリューションを導入することを強くお勧めします。たとえば、Intel Security では、McAfee の電子メール ソリューションが EOL を迎えるにあたり、これに代わる電子メール セキュリティおよびアーカイビングのパートナーとして Proofpoint を推奨しています。オンライン エクスポートは取り込みがすべて停止するまで機能しないため、新しいベンダーの選定およびソリューションの導入をオンライン エクスポートが利用できるようになるまで待たないでください。いったんオンライン エクスポートを開始すると、電子メールを取り込むタスクとジャーナルを空にするタスクを別のベンダーが引き継がない場合、お使いの電子メール サーバーのジャーナル メールボックスへの電子メールの蓄積が始まります。

Q: Managed Export Service はまだ利用できますか?

A: いいえ。Managed Export Service は 2015 年の前半に終了し、もう利用できません。

Q: 以前の Managed Export Service と現在構築中のオンライン エクスポートの主な違いは何ですか?

A: Managed Export は、データを物理ハード ドライブにロードし、輸送業者を介して物理的に配送するペーパーインシデント サービスでした。このプロセスは、近日中に利用可能になるオンライン プロセスと比べて安全性と拡張性に劣り、時間のかかるものでした。大量エクスポート機能をオンライン プロセスに移行することで、プロセスの高速化とセキュリティの向上を実現するとともに、エクスポート料金がかからなくなります。

Q: エクスポートしたデータにアクセスするにはどうすればよいですか?

A: オンライン エクスポートでは、圧縮および暗号化されたファイルが提供されます。このファイルを Web ブラウザーでダウンロードしてください。

Q: エクスポートにかかる料金はいくらですか?

A: データのエクスポートに追加料金はかかりません。ただし、エクスポートしている間、お使いのアカウントをアクティブにしておく必要があります。

Q: エクスポートにはどれくらいの時間がかかりますか?

A: エクスポートにかかる時間を予測するのは困難ですが、オンライン エクスポートのリリース日近くにガイダンスを提供できるように最善を尽くします。

Q: 取り込みが停止するまでエクスポートが機能しないとはどういう意味ですか?

A: エクスポートを開始するには、すべてのメール ソース（取り込みメカニズム）を無効にする必要があるという意味です。エクスポートを開始した後にメール ソースを再度有効化したり、新しいメールを作成したりすることはできません。

Q: エクスポートを開始する前に取り込みを停止する必要があるのはなぜですか。

A: エクスポートは、本質的にはアーカイブのスナップショットです。エクスポートの開始後にもコンテンツが追加された場合、最初のエクスポートの完了後に、エクスポートの開始以降にアーカイブされた新しい電子メールをすべて取得するための別の差分エクスポートが必要になります。これは、新しいデータが継続的に追加される場合にはループになります。これを解決するための最善の策は、エクスポート中にアーカイブのコンテンツを「フリーズ」することです。また、このことは、エクスポートの間、選択ページや保持ページが中断されることも意味します。

Q: 別のベンダーを用意していませんが、それでもエクスポートを開始したい場合はどうなりますか？

A: エクスポートは取り込みを停止するまで開始できないことにご注意ください。したがって、継続的に電子メールを取り込んでジャーナルを空にする役割を果たす別のベンダーがない場合には、弊社のアーカイブ サービスの取り込みが停止するとすぐにジャーナルが満杯になり始めます。ジャーナルが増え続けることで、システム パフォーマンスの問題（システム クラッシュのリスクなど）がすぐに引き起こされます。また、ほとんどの企業は法的およびコンプライアンス上の理由でジャーナルを保管しています。そのため、ジャーナルの停止は現実的な選択肢ではありません。コンプライアンスとサービス継続性を維持するための最善の戦略は、エクスポートを試す前に別のベンダーを見つけ、ジャーナルの取り込みが新しいベンダーに完全に移行されるようにすることです。

Q: 追加の質問がある場合は、誰に問い合わせればよいですか？

A: 追加のご質問がある場合は、担当の Intel Security アカウント マネージャーにお問い合わせください。

Q: 詳しい情報が必要な場合は、どうすればよいですか？

A: EOL およびサポート終了ライフサイクルの詳細については、McAfee 製品とテクノロジー サポート ライフサイクルに関するページをご参照ください。